

世紀の大発見! 「むかわ竜」

Mukawaryu
「むかわ竜」

むかわ竜はハドロサウルス類の恐竜で植物を食べる草食恐竜です。全長は8メートル位で、肉食恐竜に捕食されることが多かったようです。

平地を歩き回り、たくさんの植物を食べ、大きな群れを作って生活していたと考えられています。化石は約7200万年前の地層から発見されました。

中山 友貴(石下)



全身の骨格が見つかった恐竜として国内最大の「むかわ竜」は、骨の断面から、12歳程度の大人の恐竜だと分析された結果とともに展示されています。



「むかわ竜」(↑)と(右)その復元イメージ図

恐竜研究を支えて 化石をクリーニング



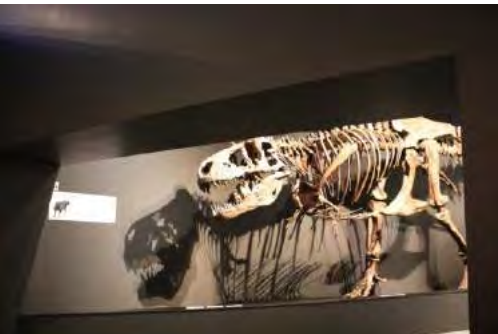
↑化石のクリーニング作業の様子
一つひとつ丁寧に作業するので、膨大な時間がかかります。研究者の他に、このように恐竜研究を支えている方々がいます。

恐竜の絶滅

明暗を分けた体のサイズ

直径10キロを超える隕石が地球に衝突したとされ、一部の鳥類を除いて恐竜は絶滅しました。生き残った生物と絶滅した生物の明暗を分けたのは体の大きさでした。温度の急激な変化、光合成が2年近く滞ったため、植物が激減したことによって消費エネルギーが少ない体の小さい生物が生き残り残りました。体の大きかったティラノサウルスなどの大型のものなど、生物全体の75%が生き残ることができず絶滅していききました。

また、ワニや亀などの爬虫類は変温動物のため、恒温動物より少ない食料でエネルギーを確保できたと少し大きいくとも生き残ることができたと考えられています。



↑ティラノサウルスを含む大型恐竜は絶滅しました。このフロアの低くなった通路(写真上部)を順路に進んでいくと、生き残った生物たちについての展示があります。

絶滅した大型生物と生き残った体の小さい生物を連想させるように、通路の天井の一部分が低い作りになっていました。この通路を境目に絶滅した生物の展示と生存した生物の展示に分かれています。

山本 有紗(城内)

Dinosaur Walker

恐竜博のお土産Check!

うまいボン うまい棒(税込972円)
↓恐竜博限定のうまい棒です。味はサラミ味で、パッケージも恐竜などのイラストが全3種類描かれています。このうまい棒を6箱買くと、うまい棒と恐竜の骨がプリントされているクッションカバー(右→)がもらえます。



今回も恐竜博限定のお土産コーナーにお邪魔しました。店員さんのアドバイスを受けながら私たちからのオススメ商品を3つ(うまい棒・クッキー・2ポケットクリアファイル)紹介します。

↓チョコインクッキー すみっくぐらし(税込1080円)
なんといっても絵がとにかく可愛い。フタは磁石になっており、飾ることが可能。また、筒はペン立てになります。味はプレーン・ストロベリー・チョコの3種類でサクとしたドーム型のクッキーの中にトロトロのチョコレートが入っています。



2ポケットクリアファイル→(税込486円)恐竜人物戯画
あの有名な鳥獣人物戯画をなんと恐竜バージョンにし、クリアファイルにしたものです。ポケットも2つあって使いやすいです。歴史が好きな人にオススメです。



マグネット付き
缶入りチョコインクッキー
すみっくぐらし
税込 ¥1,080
恐竜博限定

恐竜博2019 THE DINOSAUR EXPO

7月12日に国立科学博物館で行われた特別展「恐竜博2019」の**プレス内覧会**に参加しました。今回の見どころは恐竜ネサンス・「謎の恐竜」デイケイルス・「むかわ竜」東京に**初上陸**・「恐竜絶滅」に迫る! というものでした。平日で小雨の降る中、プレス内覧会には多くの方が参加していました。

↓プレス内覧会
開会式のテープカット



プレス内覧会って何?

プレスとは?

新聞社などの報道機関や、その記者の方などをいいます。

内覧会とは?

限定された人に対して、何かを披露する会の総称のこと。例えば建築業者が新築住宅に購入者を招いて行う完成披露会などをいいます。

今回の特別展「恐竜博2019」**プレス内覧会**は、開催前に新聞記者やテレビ局などの報道機関を対象に披露して、広報してもらう機会でした。

みなさん! 国立科学博物館で、開催されている特別展「恐竜博2019」を是非、見に行ってみてください。

恐竜のイメージを一新

子育てで恐竜がいた マイアサウラ&シチパチ



卵の上に覆いかぶさるような状態で発見された↑シチパチの化石



←卵を温めていたシチパチの復元図

→恐竜の巣の中にふ化前後の卵や子供の化石が見つかり、親が子供の面倒を見ていた形跡がありました。恐竜は卵を産んでも生まれた子供の世話をしないと考えられていたので、マイアサウラの発見により、私たちの常識が一変しました。

どこからでも見られる 360度ホロタイプ標本



↑デイノニクスの足横から見た様子

「恐ろしいツメ」を意味する学名のもとになったデイノニクスの重要な標本の足と手が日本初上陸。このデイノニクスの足の標本は、360度どこからでも見られるように展示してあるのでさまざまな角度から標本を観察することができます。
島野 まはろ(境一)

化石に羽毛の痕跡が残された恐竜のことを羽毛恐竜といい、デイノケイルスもその一種です。羽毛は現在の鳥類と同様、メスに対するアピールや同種を見分けるためのディスプレイ、威嚇、保温、抱卵などの役割を果たしています。

デイノケイルスは雑食恐竜だった

全長約11メートル 体重6.4トン
2.4メートルの腕とスピノサウルスに似た大きな帆のような背びれが特徴として挙げられます。背びれはディスプレイ(飾り)として使われていたと考えられています。
長い腕を使って植物を食べていました。お腹の中から胃石が発見され、歯がなくても食べることが可能であったことが判明しました。また、魚の骨が含まれていたことから雑食性の恐竜だったようです。
鈴木 菜湖(大穂)

へんてこ恐竜~デイノケイルス~



デイノケイルス
1965年モンゴル・ゴビ砂漠で巨大な前あしだけが発見されました。1970年にデイノケイルス「恐ろしい手」という意味で命名されました。



生徒会新聞
国立科学博物館
「恐竜博2019」特集号
2019.7.26
つくば秀英高等学校
生徒会発行

特別展「恐竜博2019」
開催期間
7/13(土)~10/14(月・祝)
通常9:00~17:00
金・土9:00~20:00
※入場は各閉館時刻の30分前まで
8/11(日・祝)~8/15,18(木・日)は18:00まで
休館:7/16(火),9/2(月),9/9(月),9/17(火),9/24(火),9/30(月)
※開館時間や休館日等については変更する可能性があります。公式サイト等でご確認ください。
入場料
一般・大学生1,600円
小・中・高校生600円
金曜・土曜限定
ペア得ナイト券
2名1組2,000円(税込)
(会場で当日17時以降販売。2名様同時入場限定)

INDEX
1面
・恐竜博2019 THE DINOSAUR EXPO
・恐竜のイメージを一新
子育てで恐竜がいた マイアサウラ&シチパチ
・どこからでも見られる360度ホロタイプ標本
・へんてこ恐竜~デイノケイルス~
2面
・世紀の大発見! 「むかわ竜」
・恐竜研究を支えて化石をクリーニング
・恐竜の絶滅
・Dinosaur Walker
恐竜博のお土産Check!

<https://www.tsukubashuei.com/>